

「シラバス」を活用して取り組む家庭学習の充実

【東部教育事務所】

- 1 学校、学年、教科 中学校、全学年、5教科
- 2 ねらい 学力向上には、教師の授業力向上と並行して、家庭学習の充実が重要と考えている。
家庭学習の充実を図るためには、「いつ、何を、どのように」するのかを具体的に指導し、習慣づけをすることが必要と考え、「シラバス」を活用した指導を進めている。

3 取組内容

(1) 「家庭学習の日」の設定と「家庭学習ノート」を活用した指導

毎週月曜日は教職員の会議日として、生徒を一斉下校させた後に諸会議を行っている。一斉下校した生徒が、下校後の時間を有効に活用できるようにとの考えから、この月曜日を「家庭学習の日」と定め、自学自習の奨励をしている。

生徒は、「家庭学習ノート」を準備して、「学年＋30分」の学習時間を目標に、学習に取り組み、翌日担任に提出する。担任はノートを確認して、個別指導を進める。昨年度1年間の全校生徒の提出率は、85%であった。(第1学年は92%)

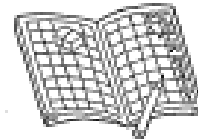
○ 月曜日は家庭学習の日

家庭学習の日の取り組み(毎週月曜日)

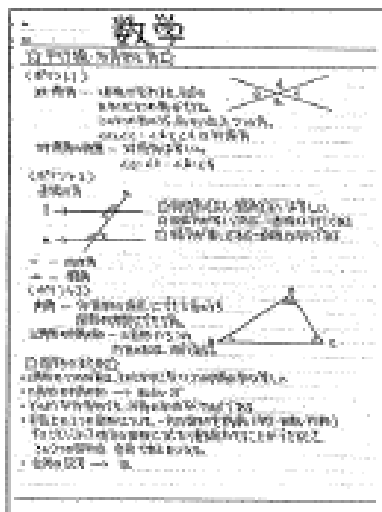
- ① 家庭学習ノートを準備します。
- ② このノートを使って学習します。漢字練習、計算、授業のまとめ、「ラインズ&ライブラリ」の取り組みなど、自分でやりたい学習をします。
- ③ 「学年＋30分」が目標の学習時間です。
- ④ 家庭学習ノートは、火曜日の朝担任の先生に提出します。

※ ノートが1冊終わったら、二冊目に接続しよう!

1年間で何冊の家庭学習ノートができるかな?



○ 家庭学習ノートの使い方 (このノートを参考に取組もう。)




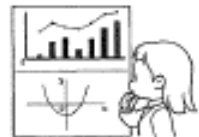
シラバスより「家庭学習を習慣化するために」

(2) 各教科の授業での学び方指導

各教科の授業では、「シラバス」を活用した学習オリエンテーションで、家庭学習の仕方の指導を行う。また、5教科の家庭学習に関して「先輩のアドバイス」「教科の先生からのアドバイス」コーナーを作り、活用を図っている。

教科会では、「自学・自習の習慣づくりにかかる具体策」を検討し、全学年の授業で取組んでいく。

「家庭では、こんな学習を進めてみよう」
【教科の先生からのアドバイス】

教科	こんな学習を進めてみよう。 まずはやってみよう！	
国語	①学習しているところの難しい漢字をノートに書いて覚えよう。 ②学習しているところのわかりにくい語句について辞書で調べよう。 ③学習しているところの「好きな表現」をノートに写して、その部分の感想や気付いたことを書いてみよう。 ④小テストや定期テストで間違えた漢字をノートに何度も書いて覚えよう。	
	【復習として】 ①授業で学習したところ（教科書）をもう一度しっかりと読み、そこにある問題を解いてみよう。 ②教科書にそったワークブックにある問題をやってみよう。そして、採点して間違えた問題をもう一度やると力がつくよ。 ③計算問題は継続的にノートにやろう。途中の計算を書くことが大切だよ。	
数学	【予習として】 ①次の授業でやるところ（教科書）を読んでみよう。 ②教科書にある例題を参考にして問題をやってみよう。できなかった問題をチェックしておき、授業でしっかりと聞くようにしよう。	
	①教科書を、声を出して何回も読んでみよう。	

「教科の先生からのアドバイス」

『私の勉強方法』を紹介しします

【第1学年の家庭学習から】

教科	勉強方法の紹介（こんな勉強をしたら、成果が上がりました）	
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字は、教科書などを見ながら丁寧に5回ずつ書いて覚えられた。 教科書を何度も読み、読めない漢字や書けない漢字を書き出して練習した。 ワークは、答えを直読書き込みではなく、ノートに書き、間違えたところはできるようにするまで、何度もやり直した。 文法は、自分で例文を作って、文節に分けたり、単語に分けたり、自分なりにやってみてからできたかどうかを先生に見てもらった。 作文は「起承転結」という段落を意識して書いた。 できるだけ授業中に理解しようと集中した。 	
数学	<ul style="list-style-type: none"> 計算ノートを作って、教科書の例題を参考にして練習問題を何度もやった。 ワークの問題を自主学習ノートにやり、間違えたところは何度もやった。 計算ノートを作って、毎日取り組んだ。計算は、やればやるだけミスが少なくなるので、大変だけれど毎日コツコツと続けることが大切だと実感した。 ノートの取り方を工夫した。例えば、ルーブリックを用意し、①間違えた問題 ②解答 ③どうして間違えたか ④解き方のポイントをまとめた。だいたいノート1ページ分にはまとめるのがポイント。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> テスト前には、自分で予想問題を作り、答えは赤で記入して、赤シートを利用して何度も繰り返し読んだ。そうすると、意外と憶えられた。 「どんな人物が何をしたか」を書いた年表を自分で作ってみた。 教科書の太字の部分を単語帳にして、繰り返しやってみた。 授業で先生が配ったワークシート（プリント）と同じものを作って（コピーして）、できるだけ何度もやった。 教科書を声を出して何回も読むと、しっかりと憶えられた。 社会科ノートを作り、問題形式にして自分でまとめた。大切なところは赤字で記入し、それを憶えて、「どうしてそうなるのか」ということまで考えた。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> 授業で行った実験を、家でもう一度やってみたらよく分かった。 実験の意味をノートに書いて復習し、重要な単語をカードに書いて憶えた。 その日の授業でやったところは、必ずその日のうちにワークを使って復習した。用語だけでなく、用語の意味も憶えた。 テストでは「～になる理由を説明しなさい」という問題が多く、用語を暗記するだけでは通用しないので、「どうしてそうなるのか」ということを、自分で考えてノートにまとめた。 教科書とワークで勉強することが一番効果的。そのために、ワークを何枚もコピーして、できるだけやった。 	
英語	<ul style="list-style-type: none"> 自主学習ノートにスペルと訳を書いて、スペルを隠したり、訳を隠したりして何度も練習した。 単語は、発音しながら何度も書いて練習したら、憶えられた。 単語カードを作って、何度も発音して意味を憶えた。 英語のワーク専用ノートを作り、何度も繰り返しやってみた。 とにかく教科書の本文、ワークの文、単語を丸暗記した。「The 動物＋ing」などと憶えるよりもずっと効果的。暗記してしまうと、文法も「何となくこんな感じかな？」とスラスラできるようになった。 	
5教科共通	最理想学習ドリル「e-ラインズ」が、問題を解いていく形式で、答え合わせでは解説もついているため、勉強するリズムが身についた。	

自学・自習の習慣づくりにかかる具体策（各教科・領域）

教科	内容
国語	【漢字・語句の練習】 ・1, 3年…毎単元の10問の小テスト→月1回 確認テスト ・2年…毎単元の2問漢字、文法演習→定期テストで活用 【書かせること】 ・自作ワークシートの工夫。（易から難へとここのレベルアップを図る。） ①感想を書く→②本文を抜き出す→③本文の語句を工夫して書く→④自分の言葉で書く 【音読】 ・授業で徹底的に音読を行う。 ・古典を暗誦させる。 【e-ライブラリの活用】 ・基礎・基本の定着を図る。
社会	【基礎基本テストの実施】 ○地理的分野 ・定期的に分県、県名テストを実施 ○歴史的分野 ・各時代の年表テストを実施 ○公民的分野 ・重要語句テストを実施 【e-ライブラリの活用】 ・復習に役立てるために、ドリル問題に進んで取り組む 【予習のすすめ】 ・予習→授業→復習の定着を図る ①教科書をよく読む。②ノートにまとめる。③問題集に取り組む。
数学	【e-ライブラリの活用】 ・復習に役立てるために、ドリル問題に進んで取り組む。 ・繰り返し問題演習を行って基礎・基本の定着を図る。 【予習のすすめ】 ・予習→授業→復習の定着を図る。 ①予習の仕方として教科書に分からなかったところに付箋を貼る。また、ノートの書き方の工夫を図る。 ②授業の進度に合わせて、予習したことや授業で学んだことを整理しながら、ワークの問題を解く。（ワークは提出させ、チェック。繰り返し定着を図る） 【夏休み中およびその後の取り組み】 ・夏休み用のワークの活用→今まで学習した内容を反復して取り組む。 ・課題テストの実施。

「自学・自習の習慣づくりにかかる具体策」

「先輩からのアドバイス」

(3) 「生活スケジュール表」指導による生活・学習習慣の確立

年度当初には、学級活動の時間に「生活スケジュール表」作成の指導をする。完成した「生活スケジュール表」は、保護者にも見てもらい、励ましの言葉を書いてもらう。二者面談や三者面談、家庭訪問の際には、「生活スケジュール表」を活用して相談を行う。なお、定期テスト前の学習計画や長期休業前の生活計画表の作成の指導も行う。

生活スケジュール表を作成してみよう！！

ねらい 家庭学習を定着させて基礎学力をアップさせよう。
バランスのよい充実した家庭生活を送ろう。

第1活動 現在の自分の生活習慣を見直そう。 各自で生活を振り返ってみよう！
※現在の生活を「鉛筆」で書いてみよう。
・およその帰宅時間 ・楽しみにしているテレビの時間番組 ・自由な時間
・＜勉強時間 自学・自習の時間＞ ・学習塾や習い事の時間 ・就寝時間
・その他、夕食や風呂の時間なども書いてみてください。

第2活動 バランスの取れた生活になるよう考え、修正してみよう。
※具体的な目標を設定します。好きな言葉を決めて書こう。
・テレビは見すぎないか。 ・寝るが過ぎないか、早すぎないか。
・自由な時間（リラックスタイム）はとれているか。 ・適切な勉強時間は確保できているか。
ポイント あくまで実行可能で努力すればやれると思う範囲で考える。
現在、家庭学習ゼロの人は、30分や15分の細切れを作って45分程度から始めてみてはどうだろう。学習塾で忙しい人もいるでしょう。でも自主自立的な学習は大切なものです。15分程度でも計画的にスピーニングや漢字練習をしていくなど、自分で考え実行してみよう。はじめはムリなく、でも決めたら実行してみよう。

第3活動 先生にアドバイスをもらおう。
※先生にアドバイスをもらい、スケジュール表を完成させよう。

第4活動 完成した案を丁寧に読ませてみよう。A4上質紙です。ていねいに！！
※3つの時間帯を着色してみよう。
・自学自習の勉強時間 赤色 ・リラックスタイム 青色 ・寝る時間 黄色

第5活動 教室に持ち帰り、親の励ましの言葉を書いてもらってくる。担任に提出。
※台紙等に貼って返却。 実際に自分のスケジュール表を学習場所にはてみよう。

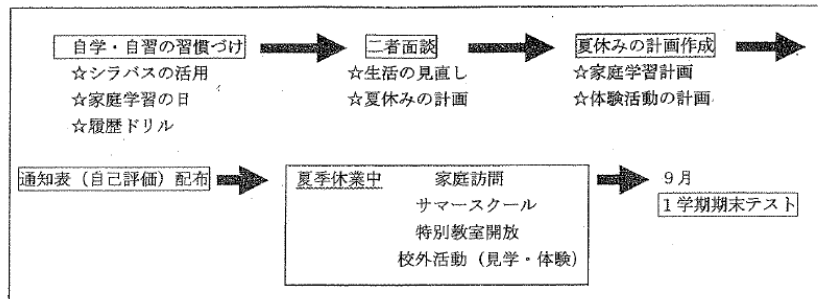
(参考例)生活スケジュール表

科目名	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
基礎定着の日	英語	英語	英語	英語	英語	英語
リラックスタイム	読書	読書	読書	読書	読書	読書
自学自習	読書	読書	読書	読書	読書	読書
入浴・夕食	読書	読書	読書	読書	読書	読書
自由な時間	読書	読書	読書	読書	読書	読書
勉強時間	読書	読書	読書	読書	読書	読書
就寝時間	読書	読書	読書	読書	読書	読書
その他	読書	読書	読書	読書	読書	読書

(参考例)夏休みの生活スケジュール

夏休みの生活スケジュール表	日	時	分
6月19日	7:00	8:00	9:00
6月20日	7:00	8:00	9:00
6月21日	7:00	8:00	9:00
6月22日	7:00	8:00	9:00
6月23日	7:00	8:00	9:00
6月24日	7:00	8:00	9:00
6月25日	7:00	8:00	9:00
6月26日	7:00	8:00	9:00
6月27日	7:00	8:00	9:00
6月28日	7:00	8:00	9:00
6月29日	7:00	8:00	9:00
6月30日	7:00	8:00	9:00

シラバスより「生活スケジュール表を作成してみよう」部分



「自学・自習の習慣づけ」指導の流れ

	定期テスト1週間前の学習時間 (全校平均)	
	21年度	20年度
1 週間の学習時間合計		
1 学期中間	19.9時間	16.2時間
1 学期期末	16.4時間	17.8時間
2 学期中間	21.9時間	19.3時間
2 学期期末	20.2時間	20.2時間

※2学期期末テストは1, 2年のみのデータ

定期テスト前の学習時間

定期テスト終了後には、テスト前一週間の学習時間を調査して、取組状況を評価している。どの学級も、テスト前にはしっかり準備を行い、当日のテストに臨む良い雰囲気が出てきている。

4 成果と課題

各学級担任による毎週のきめ細かな「家庭学習ノート」指導により、生徒達の家庭学習習慣が定着してきている。毎週月曜日の「家庭学習の日」だけでなく、毎日「家庭学習ノート」での学習を行い、担任に提出する生徒も増えている。

各教科担当による家庭学習のやり方指導、家庭学習展示会の成果も出ており、家庭学習の内容も充実してきている。

生徒にやらせるだけでなく、生徒の学習状況を確認し、評価していくことが大切である。今後さらに、学級担任と教科担当とが連携して、個別支援を進めていきたい。